

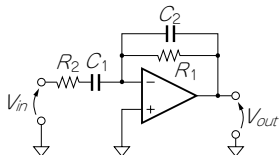
# 訂正とお詫び

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の箇所に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。  
(編集部)

■ 2007年5月号

● 特集

p.142 図18 下図参照



p.144 コラム内 ↑ 2 (約  $10^{-8}$ ) → (約  $10^{-8}$ )

p.146 図3 キャプション もな多い → も多い、表B ↑ 2 立ち、上がり → 立ち上がり

p.147 左 ↓ 10 N型とP型 → NPNとPNP、図5

(b) 右図参照

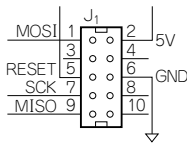


p.148 左 ↓ 2 JEDEC → JEITA, 表1  
キャプション (JEDECとは米国電子工業会のこと) → (JEITAとは社団法人電子情報産業協会のこと), ↑ 2 11 ~ 4桁 → 11 ~ 9999 (4桁)

p.155 写真1 キャプション ↓ 5 QFP → QFN

p.156 左 ↓ 8 “111” → “110”

● クローズアップ！ワンチップ・マイコン



p.198 図12-6 右図参照

● 実験で学ぶロジック回路設計

p.211 右 ↓ 3  $\overline{bcd[0]+}$  →  $\overline{bcd[0]}$

p.212 左 ↓ 6  $\overline{bcd[0]+}$  →  $\overline{bcd[0]}$  ↓  
14  $\overline{bcd[0]+}$  →  $\overline{bcd[0]}$

p.216 左 ↑ 5 いずれかに一つでも1を含む信号(ビット・ベクタ)がある場合に1'b1となり、両者全ビットとも0 → いずれかが1(ビット・ベクタの場合は一つでも1を含む)の場合に1'b1となり、両者とも0(全ビット0)

p.217 Keyword 4 右 ↓ 3  $+D \cdot \overline{C} \cdot \overline{B} \cdot \overline{A}$  →  $+D \cdot \overline{C} \cdot \overline{B} \cdot A$ , ↓ 4  $D \cdot \overline{C} \cdot \overline{B}$  →  $=D \cdot \overline{C} \cdot \overline{B}$

● ホット・デバイス・レポート

p.238 図10 右図参照

